

## 【質疑応答要旨】

【記者】 人権擁護の条例について、具体的な内容と近隣自治体の制定状況を知りたい。また、罰則規定はあるか。

【市】 新型コロナウイルス感染者に対する偏見等を防止及び予防し、その人権を擁護するため、市、市民、事業者の責務についてうたっている。市の責務は、偏見等を生じさせないための新型コロナウイルス感染症について正しく理解することの普及啓発及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために必要な情報の報道に努めるものとし、その公表を行うにあたっては、偏見等の行為の未然防止を図り、感染症関係者の人権を擁護するよう最大限管理するという内容としている。市民の責務は、感染症に関して正しく理解するとともに、関係者に対して偏見等の行為をすることがないように努めなければならないとする。事業者の責務は、感染症に関して正しく理解するとともに、正確な情報に基づく従業員の教育に努めなければならないとし、また事業活動を行うにあたっては、偏見等の行為の未然防止を図り、感染症に感染している従業員及び感染している疑いのある従業員並びにその家族の人権を擁護するよう努めなければならないといった理念的な条例。愛知県内では、人権特化ではないが、大府市、豊橋市、名古屋市、西尾市が人権擁護を含めた形で人権の条例の制定及び準備をしていると聞いている。罰則規定はない。

【記者】 人権の条例について、市内で偏見や差別的な言動があるのか。それはどれほど深刻な状況なのか。

【市】 今のところはないが、全国のニュースでも非常に過激な表現もあり、いろいろと差別や人権侵害につながる、あるいは感染者に対してバッシングをするということが各地で見受けられた。小牧でも感染が確認される中、情報の出し方について、極めて難しい状況の中で対応を慎重にしてきた。学校関係の児童生徒が感染したという事例では、事実ではないことも含めていろいろなうわさが飛び交う。それがいじめにつながることなどを懸

念しており、人権教育だとか、市民でもまだまだそういった意味での啓発は非常に大事と考える。

【記者】 市内の事業所でクラスターと思われる案件、先日は市民病院の職員の方の感染が確認されたということがあるが、現在、感染の状況を市長としてどのような段階にあると判断しているのか。

【市】 第3波と言っていい状況と認識している。危機感をもたなければいけない。市内の事業所でクラスターが発生し、市民の皆さんに正しい情報をどこまで出すのか、出さないのかというのがある。10月については、市内のある企業で従業員間の感染があり、そこで家族が感染し、保健所の指示よりも広く検査を行った結果、無症状の家族などに陽性が広く確認され、数がかなり増えた。その時点では、市中感染という市内で感染が広がっている状況ではないという認識。その家族で児童生徒の感染が確認され、休校も相次いだ。校内での感染は確認されていない。一方で、感染経路不明の感染も増えており、憂慮している。企業が倒産したり、失業したり、自殺が増えたり、その他の健康被害、認知症など新型コロナ以外の健康被害も増加しており、感染症予防と社会経済活動、その他の様々な状況というのは、行政はバランスをとり俯瞰的に進めていかないといけない。国や県の動向を見ながら、注視しながら判断しなければいけない。

【記者】 手指の消毒液ですが、今週末までに配布を終えるのか。60mLというのは何回分か。ほかの自治体ではこういった取組みはあるのか。

【市】 今週末までに配布を終える。20回から30回分というところである。近隣で同様の取り組みを行ったという情報はない。

【記者】 在留関係相談の開設について、予約の受付はどのように行うのか。

【市】 12月1日の広報に掲載予定だが、多文化共生推進室まで相談日の2日前までに連絡のうえ予約していただく。方法は電話、

メール、ホームページの問合せフォームでも可能。

【記者】 在留関係相談の受付が月に4人までというのは、入管の都合か。

【市】 県の国際交流協会のあいち多文化共生センターでは、第3水曜日の午後、1コマ45分、1日4コマの相談ができ、多いときで1日3件、平均して1、2件の相談があるということである。入管の職員の都合もあり、本市では月に4件でまずは実施してみることにした。今後必要に応じて、入管とも連携しながらやっていきたい。

【記者】 今の小牧市の国際化、外国人が多くいる状況をどう考えているか。

【市】 ベトナム人の方とかが、研修生等が解雇され、苦しい状況があるということを聞く。そこで制度面など市が何をできるのか、実態把握が十分ではないと思う。相談があった時々で対応している状況。国や県との連携も模索していきたい。外国人に限らず、新型コロナウイルスの影響で職や住居の問題、生活保護も増加しており、最終的なセーフティネットとしてきちんとやっていくということが大事だと思っている。